

災害支援手帖

荻上千キ

木楽會

日本は災害大国です。地震や大雨、台風や大雪など、災害は毎年のように起こります。数年から数十年に一度は、津波や大地震などの大災害も発生します。これらの災害は、たくさんの犠牲者を出してしまったり、多くの人たちの生活を壊してしまいます。

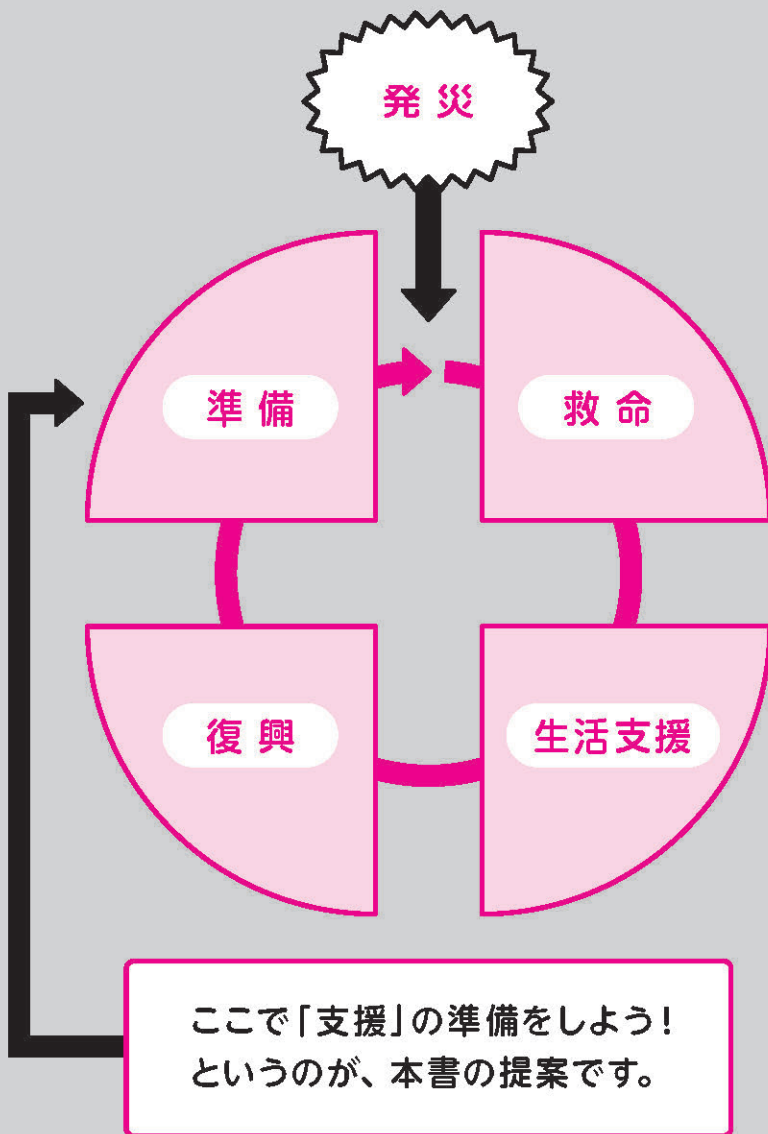
災害の被害は、発生した自然現象の規模のみで決まるわけではありません。地震であれば「震度」、台風であれば「風力」「降水量」だけで、被害の規模が決まるわけではないのです。その現象に対する備えをどれだけしてきたかによって、被害の程度は変わります。建築のルールを決めたり、堤防を造るなどして、災害の被害を小さくすることもできます。

ところで、社会の備えというのは、建物を頑丈にするばかりではありません。毎年のように防災訓練を行うなど、命を迅速に守るための教育も大事です。防災グッズを各家庭で備えておくのもいいでしょう。社会が災害に対して備えるためには、本当にいろいろな方法があります。

そこで本書が提案するのが、「支援訓練」です。自分の命を守るための「避難訓練」を経験した人は多いでしょう。一方で、誰かを助けるための支援訓練は、あまりしたことがないのではないのでしょうか。

これからも、私たちは何度も、「支援する側」という立場を経験することでしょう。「支援の準備」を進め、「支援の練習」をしていけば、順番に、互いに助け合うことができるようになるでしょう。防災訓練の日を定めるのと同じように、支援訓練の日を定めるのもいいかもしれません。

2011年に起こった東日本大震災。百年に一度あるかないかの大きな災害のなかでも、備えの有無で明暗が分かれてしまったケースがたくさんありました。あれほどの大災害でさえも、「支援される側」よりも「支援する側」の人のほうがずっと多かったという事実は、とても大事です。



各地から大勢のボランティアが被災地に向けつけ、泥のかき出しやがれきの片付けを手伝いました。炊き出しや事務処理などの手伝いも行いました。さまざまなNPO活動も行われました。

現地に行けなくても、募金をしたり、支援物資を送った人もいました。被災地の物産を買って応援する人や、被災した人の避難を受け入れる人たちもいました。

阪神・淡路大震災をきっかけに、大小さまざまなボランティア団体が組織され、被災した人や地域を助ける知恵や方法が広く共有されていきました。この震災の起こった1995年は、「ボランティア元年」とも呼ばれています。それから東日本大震災が起こるまでの16年で、NPOやボランティア文化が根付いていたことは大きな力になりました。

でも一方で、ボランティアのノウハウ、支援の方法が、社会に浸透したとはまだ言い切れません。被災地の足を引っ張ってしまった支援も、なかにはありました。災害直後は、必要な支援が何なのかかわからず、混乱したという人もいますでしょう。

東日本大震災で体験した成功や失敗は、災害支援をバージョンアップさせるための大事な教材となります。この本は、そんな教材を集めた「ヒント集」です。

この本は「正解集」ではありません。効果的な災害支援はタイミングや季節、地域、支援される人によってすべて違ってきます。「必ずこれをやりましょう」とはなかなか言えません。でも、事例について知ること、
「今回はどういう支援がいいだろう」と深く考えることができるようになるでしょう。

それでは、支援訓練をはじめましょう！

荻上千キ

登場人物紹介



荻上千キ（おぎうえ・ちき）

この本のナビゲーター。被災地で支援活動取材するなかで、たくさんの事例を見聞きしてきた。そうした事例がこれからの防災を考えるヒントになるのではないかと思い、本にすることにした。

サポトレくん

募金活動に参加するも、自分の活動が本当にそれでよかったのか、と疑問を持つ学生。もっとできることはあるのではないかと、ボランティアや被災地支援について調べはじめた。



目次

第1章 お金で支援しよう!

「義援金」と「支援金」ってどう違うの? _____	10
義援金はどこに寄付すればいい? _____	11
義援金はどうやって届けられる? _____	12
義援金についての注意点 _____	13
支援金って何? _____	14
「利益を受け取らない」ってどういうこと? _____	15
応援できるNPOはどこにあるの? _____	16
それって「えこひいき」じゃないの? _____	17
「モノ」を使って「お金」をつくる _____	18
かわりに売って支援する _____	19
募金はなかなか続かない _____	20

第2章 モノで支援しよう!

物資で支援する前に考えておきたいこと _____	24
被災地に必要なモノって何? _____	26
支援物資を届けるにはどうすればいいの? _____	28
支援物資を届けるときに注意することは? _____	31
親切な梱包ってどんなかんじ? _____	32
困った支援物資の例 _____	33
変わっていくニーズに対応するために _____	34
大きな企業による支援のしくみ _____	35
図解! ピースボートの倉庫を見てみよう! _____	36

第3章 ちょっとした工夫で支援は変わる!

1 商店街の復興費用を援助するには? _____	40
2 「情報を届ける」ための手助けをするには? _____	42
3 仕事をなくした人たちを支えるには? _____	44
4 《本》や《活字》で支援はできる? _____	46
5 情報ボランティアって何? _____	48
6 「支援貧乏」をつくらないために _____	50
7 「小さなメディア」が命を救う _____	52
8 「支援金」をあつめる新しい方法 _____	54
9 「モノ」を「お金」に変える! _____	56
10 地域と地域の結びつきでできること _____	58
11 「心のケア」はむずかしい? _____	60
12 “困ってること”をもつ人たちへ _____	62
13 語り継いでいくために _____	64
14 特技を活かしたユニークな支援 _____	66
15 時期によって変化するニーズの実態を学ぶ _____	68
16 進学をあきらめる子どもがいなくなるように _____	70
17 子どもの遊び場でストレス発散! _____	72
18 いろんな「困っている」を知る _____	74
19 支援の文化を育てていこう _____	76
20 「自粛」は被災地のため? _____	78

第4章 支援は終わらない!

ボランティアと地元の関係 _____	82
ボランティア受け入れについての苦労話 _____	86
行政の職員の困ったこと・助かったこと _____	88
さまざまな取組みと、見えてきた課題 _____	90

対談

永松伸吾さんに「これからの災害支援」を 聞きにしてみました	98
----------------------------------	----

あとがき

支援の事例を残していく	104
-------------	-----

コラム 現地に行くときに知っておいてほしいこと

ボランティアに行きたい!	22
花形だけがボランティアじゃない	38
支援のニーズはずっと続く	80
必要な装備も変化する	96